

# 「陶山地区まちづくり計画」説明書

## はじめに

令和2年4月に陶山まちづくり協議会が策定した「陶山地区まちづくり計画」について住民の皆様への説明です。この説明を理解して、みんなで陶山地区まちづくり協議会の活動をしましょう。

### (1) 陶山地区まちづくり計画策定の経過

笠岡市は、第7次総合計画に、今後数年をかけて全てのまちづくり協議会で「地域まちづくり計画」の策定を進めることを記載しています。

そこで、陶山地区みんなが輝くまちづくり協議会（以下「陶山まちづくり協議会」という）では、平成30年度から陶山地区まちづくり計画（以下「まちづくり計画」という）の策定準備をし、令和元年度から本格的に策定の取り組みを行ってきました。令和元年8月には、「陶山地区まちづくり計画策定委員会」（以下「策定委員会」という）を立ち上げ、小中学校の児童、生徒や若年層へのアンケートを行い、意見を聴取しながら、策定委員会で協議を重ね、令和元年12月に素案をまとめました。

この素案についての住民の意見を聴取するため、パブリックコメントの募集を令和2年1月に実施しました。その意見を参考にし、策定委員会で原案をまとめ、陶山まちづくり協議会の理事会で承認を得た後、令和2年4月陶山まちづくり協議会の総会で決定いたしました。

### (2) まちづくり計画の意義

まちづくり計画は、自分の住む地域がより暮らしやすいまちとなるよう目標を立て、実現に向けた取り組みを示す「道しるべ」です。

陶山地区の課題をみんなで共有し、地域全体で協働して取り組むためのよりどころとした計画です。

### (3) 計画の期間

陶山地区まちづくり計画は、5年後、10年後を見据えた計画としています。ただし、社会情勢の変化や住民ニーズの変化などに対応していくため、およそ3年ごとに見直します。

## 1 陶山地区の現状と課題について

### (1) ワークショップ、懇談会、アンケート調査の意見

陶山まちづくり協議会では、平成22年12月、平成23年11月、平成27年2月にワークショップ、平成27年9月に地区懇談会、平成28年11月にアンケート調査、平成29年9月から11月に地区民交流会を行ってきました。

さらに、令和元年8月には小学校3年生から5年生及び中学生に、令和元年10月には小中学校保護者及び消防団員にアンケート調査を行いました。

これらの中で出された陶山地区住民の意見から陶山地区の現状と課題を策定委員会で整理しました。その中で多く出された意見は、次のとおりです。

- ・夜道が暗くて不安、街灯が少ないので増やして欲しい
- ・荒廃地の対策が必要
- ・人口が減少している、子どもが増えないのが心配
- ・車に乗れなくなると外出（買い物など）に困る
- ・ゴミのないきれいで、自然豊かな陶山地区になって欲しい
- ・高齢者と若い人がお互いに支え合い、助け合う関係になればいい
- ・地元の行事が多すぎて、負担が大きいので行事の仕組みを見直して欲しい

## (2) 収集した住民意見から見えてくる現状と課題

住民の意見を整理し、策定委員会では、陶山地区の現状と課題を次のように整理しました。

陶山地区では、少子高齢化が進んでいるという現実があり、このため若年人口減少による地域活力の低下、公共交通の縮小に伴う高齢者の交通手段の確保の困難化、農業後継者不足による耕作放棄地の拡大、荒廃地の増加による有害鳥獣の出没増加、子どもの減少による幼稚園の休園、小学校の統廃合の計画発表等深刻な問題が発生している。そして、これが地域全体の活力を削ぐという状況を生んでいる。

## 2 まちづくり計画の内容について

### (1) 目指す陶山の姿

陶山地区の現状と課題を見据えて10年後の目指す陶山の姿を策定委員会で協議しました。協議の過程で出た案は次の6つでした。

- ①みんなが安心して住み続けられるまち
- ②陶山を愛し心豊かに過ごせるまち
- ③みんなが住みよい陶山づくり（みんなが住みよいまち）
- ④みんなが陶山に住んで良かったと思えるまち
- ⑤みんなが笑顔で暮らし、元気あふれるまち
- ⑥絆で笑顔あふれる陶山

協議の結果、「みんなが笑顔で暮らし、元気あふれる陶山」としました。これは、現状を打破し、課題を解決した先に見える姿をイメージしたものとなっています。

## (2) 活動指針について

活動指針は、目指す陶山の姿にするための方向性を定めたものです。

まず、活動項目を3つの分野に分け、それぞれの分野ごとの方向性を示したものとしました。活動項目は、「支え合い」、「命と暮らしを守る」「文化を未来につなぐ」としました。

「支え合い」の分野では「地域で支え合う絆づくり」、「命と暮らしを守る」の分野では「安全で安心できるまちづくり」、「文化を未来につなぐ」の分野では「文化を引き継ぎ豊かな自然を守る」としました。

この指針に沿って個々の活動を進めていくこととなります。

## (3) 活動項目について

具体的な活動項目は、3つの分野ごとにまとめて記載しています。活動項目は従来から行っている継続活動と、これから新たに始めようとする新規活動があります。

継続活動については、事業主体となっている各種団体から現在行っている活動をまとめてもらいました。これによって、今まで行っているまちづくり活動の見える化が図られました。平成30年度に提出された資料を整理する中で令和2年4月時点で既に行っていないものは削除し、提出後始めたものは継続分として記載しました。また活動が陶山地区を越えて全市的なものや全国的なものについてはこの計画から除いています。

新規活動については、陶山地区の現状と課題を見据え目指す陶山の姿を実現するための活動を探っていきました。策定委員会が出された新規活動の案は、下記のようなものでした。

- ①若い人に出会いの場を作る
- ②若い人が移住できるような対策
- ③耕作放棄地対策
- ④陶山地区一斉ごみ拾い
- ⑤交通問題対策
- ⑥有害鳥獣対策
- ⑦防災訓練の実施
- ⑧防犯灯の設置
- ⑨子育てサロンの開設

このうち、①、②、③、⑥、⑦、⑧は新規活動として取り組むことになりました。④は素案では取りあげていませんでしたが、その後、理事会において協議の結果、「陶山地区クリーン作戦」として取り組むこととしました。⑤はすでに継続活動で「公共交通問題の研究」として取り組んでいるとの理由で、⑨は現在行っている子育て支援活動が精一杯であり、子育てサロンの開設は困難であり新規活動にしないことになりました。

① ②は併せて一つの活動とし、「陶山恋恋大作戦」としました。

そして、新規活動は6項目となり、個々の活動の概要は別記にまとめました。

#### (4) 期間について

新規活動については、目標達成期間を定めました。短期は1年～2年、中期は3年～4年、長期は5年以上としました。この期間を目標として活動を進めていきます。

#### (5) 事業主体及び協働について

事業主体は、その活動の主体となる組織や団体のことで、その活動を協働して行う組織や団体がある場合は、協働欄に記載しました。

### 3 まちづくり計画の推進について

このまちづくり計画を推進していくためには、自助、共助、公助の視点に立ち、協働して住民ぐるみで取り組んでいくという気構えが必要です。

若年層にアンケート調査をした結果、地元の行事が多すぎて、役が負担である行事の見直しを求めるとの意見が多くみられました。今まで活動に取り組んできた各種団体は、過去のやり方に固執せず、絶えず時代に即して、活動を検証し見直しをしながら活動を進めることが求められています。

また、継続活動については、今後は出来るだけ数値目標の設定を行って、活動を進めていくことを希望します。

新規活動については、その活動に参加する人がいなければ、せっかく作った計画は絵にかいた餅となります。一人一人が地域を支え合い、助け合うという気持ちで取り組むことが必要です。どうか住民の皆様、このまちづくり計画を推進するために活動へ主体的かつ積極的に参加をしてください。